

2019年11月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) ハバナ国際見本市の開催
- (2) パセオ・デル・プラド・ホテルの開業
- (3) ハバナ創設500周年
- (4) 兌換ペソ（CUC）の国外持ち出し・持ち込み禁止
- (5) 閣僚評議会の開催
- (6) 4G/LTEデータ通信サービス提供の開始
- (7) 人民権力全国議会第9立法期第4回通常会期の日程の発表

2 外交

- (1) 「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議の採択
- (2) シエラ外務次官のカリブ諸国歴訪
- (3) マレロ観光大臣の中国訪問
- (4) ボリビア情勢に関する外務省発表
- (5) エブラル・メキシコ外務大臣の訪問
- (6) サルムサイ・ラオス外務大臣の訪問
- (7) フェリペ・スペイン国王同妃両殿下の訪問
- (8) 米国政府によるキューバ制裁リストの更新
- (9) エクアドルとの保健分野の協力終了
- (10) ボリビアからのキューバ人医療従事者の撤退
- (11) Oh Chun Bok 北朝鮮保健大臣の訪問
- (12) 第2回一方的かつ抑圧的政策に関するキューバEU対話の開催

3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

【本文】

1 内政

- (1) ハバナ国際見本市の開催

4日から8日にかけて、第37回ハバナ国際見本市（FIHAV2019）が開催された。4日に行われた開会式には、ミゲル・ディアスカネル大統領、リカルド・カブリサス閣僚評議会副議長、オルランド・エルナンデス商業会議所会頭などが出席した。ロドリー

ゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が開会挨拶を行い、米国による対キューバ経済制裁が強化されている中、多くの外国企業の参加を得られたことに満足の意を表した。また、6日には、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣から、例年通り投資機会リストが発表された（全460案件／11,745百万ドル相当）。

（2）パセオ・デル・プラド・ホテルの開業

9日、アコーホテルズ（フランス）によるパセオ・デル・プラド・ホテル（5つ星）が開業され、開業式にはラウル・カストロ共産党第一書記、ディアスカネル大統領、エウセビオ・リアル・ハバナ歴史事務所長、フアン・ガルシア観光次官が出席した。

（3）ハバナ創設500周年

16日のハバナ創設500周年に当たり、ハバナでは数多くの文化事業が行われたほか、海外からも複数の要人が来訪した。

15日、ハバナ創設500周年を記念して、サンクトペテルブルグ・バレエ団がアリシア・アロンソ劇場にて公演を行い、ディアスカネル大統領夫妻、エステバン・ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長、ルイス・トーレス共産党ハバナ県第一書記等のキューバ政府要人が出席した。同日夜には、ハバナ発祥の地であるテンプレーテにて式典が行われたほか、モロ要塞から花火が上げられた。

16日、ホセ・マルティ劇場にて、人民権力全国議会荘厳特別会期が開催され、故フィデル・カストロ元国家評議会兼閣僚評議会議長及びリアル・ハバナ歴史事務所長を称えた。同式典には、ラウル・カストロ第一書記、ディアスカネル大統領、ホセ・マチャード共産党第二書記、ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長、サルバドル・バルデス副大統領、レイナルド・ガルシア人民権力ハバナ県議会議長、トーレス共産党ハバナ県第一書記、全国家評議会委員及び全閣僚が出席した。同日夜には、カピトリオにおいて国内外の要人を招いた記念式典が開催され、最後には花火が上げられた。

期間中、ワレンチナ・マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長、フランソワ・オランド・フランス前大統領、フランソワ・ミシェル・ランバート・フランス・キューバ友好議員連盟会長（国民議会議員）、Abdulahawab Al Bade クウェート・アラブ経済開発基金総裁、Abdulhamid Alkhalifa OPEC開発基金（OFID）総裁等の外国要人がキューバを訪問し、ディアスカネル大統領、ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長等のキューバの要人と会談した。

（4）兌換ペソ（CUC）の国外持ち出し・持ち込み禁止

16日、キューバ中央銀行決議276／2019号が発効した。同決議により、2,000キューバペソ（CUP）までの国外持ち出し・持ち込みが許可されるとともに、CUCの国外持ち出し・持ち込みが禁止されることとなった。また、同決議の影響で、ハバナ

の国際空港の制限区域内におけるCUCの使用が禁止されることとなった（使用できる通貨は、CUP、米ドル、ユーロ、カナダドル）。

（５）閣僚評議会の開催

２２日、ディアスカネル大統領出席の下、閣僚評議会が開催され、米国による制裁強化、ラテンアメリカ地域情勢、経済計画、予算、外国投資等について議論が行われた。

（６）４G／LTEデータ通信サービス提供の開始

２２日から、携帯電話網での４G／LTEデータ通信サービスの提供が開始された。料金は、１５０MB／日で１CUC、６．５G／月で３５CUCなど。

（７）人民権力全国議会第９立法期第４回通常会期の日程の発表

２９日、人民権力全国議会第９立法期第４回通常会期が１２月２０日９：００に招集され、同議会常設委員会が同月１７日及び１８日に開催されるとの日程が発表された。

２ 外交

（１）「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議

７日、第７４回国連総会本会議において「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」に関する決議案が賛成１８７、反対３（米国、イスラエル、伯）、棄権２（コロンビア及びウクライナ）にて採択された（モルドバは無投票）。ブルーノ・ロドリゲス外務大臣はニューヨークを訪問し、本件決議採択前に演説を行ったほか、アントニオ・グテーレス国連事務総長及びティジャーニ・ムハンマド＝バンド第７４回国連総会議長とそれぞれ会談した。

（２）シエラ外務次官のカリブ諸国歴訪

７日から２０日にかけて、ロヘリオ・シエラ外務次官はドミニカ共和国、アンティグア・バーブーダ、セントクリストファー・ネイビス及びバルバドスを訪問した。

シエラ外務次官は、ドミニカ共和国においてアジア中南米協力フォーラム（FEALAC）第９回外相会合に出席したほか、各訪問国で政府要人と会談した。

（３）マレロ観光大臣の中国訪問

８日及び９日、マヌエル・マレロ観光大臣は中国を訪問し、２０２０年初頭に在中國大使館に観光担当参事官を配置すること及び２０２１年をキューバ・中国観光交流年とし、中国が同年にハバナで開催される国際観光市（FITCuba）の招待国となることを発表した。

また、マレロ観光大臣は北京以外に上海及び杭州も訪問した。

(4) ボリビア情勢に関する外務省発表

9日、キューバ外務省は、ボリビア情勢に係る報道発表を行った。同報道発表で、キューバ政府は、エボ・モラレス大統領への支持を表明するとともに、同大統領に対するクーデターを強く非難し、全ての関係者に対して、ボリビア及び域内全域の安定を脅かす、危険な工作を止めるよう訴えた。

(5) エブラル・メキシコ外務大臣の訪問

9日、ロドリゲス外務大臣は、キューバを公式訪問中のマルセロ・エブラル・カサウボン・メキシコ外務大臣と会談し、双方は、良好な二国間関係をレビューするとともに、117年にわたる継続した関係の中、政治・外交、経済、貿易、協力及び文化のつながりを強化していく共通の意志を確認した。

また、同日、ディアスカネル大統領はエブラル外務大臣の表敬を受け、歴史的な友好・協力関係の継続を祝い、共通の関心分野における連携を強化していく意志を再確認した。メキシコ側からは、ラサロ・カルデナス・バテル大統領府筆頭顧問、ミゲル・イグナシオ・ディアス・レイノソ駐キューバ大使、キューバ側からは、ロドリゲス外務大臣及びエウヘニオ・マルティネス外務省ラテンアメリカ・カリブ総局長が同席した。

さらに、同日、ラウル・カストロ共産党第一書記もエブラル外務大臣の表敬を受け、双方は、二国間関係が良好な状態にあることに満足の意を表明し、この関係を発展させていくことで一致した。メキシコ側からは、カルデナス大統領府筆頭顧問、ディアス駐キューバ大使、キューバ側からは、ロドリゲス外務大臣が同席した。

(6) サルムサイ・ラオス外務大臣の訪問

11日、ロドリゲス外務大臣は、キューバを公式訪問中のサルムサイ・コンマシット・ラオス外務大臣と会談し、双方は、素晴らしい二国間関係の歩みを振り返るとともに、経済、貿易及び協力分野における取り組みを更に発展させていくことを確認した。ラオス側からは、Khaykhamphithoune Phoxay 事務次官、Anouphone Kittirath 駐キューバ大使、キューバ側からは、エミリオ・ロサダ外務省二国間問題総局長、マリア・エレラ外務省多国間問題・国際法局長代行、アルベルト・ブランコ外務省アジア大洋州局長が同席した。

また、同日、ディアスカネル大統領もサルムサイ外務大臣と会談し、双方は、11月4日に45周年を迎えた素晴らしい二国間関係について意見交換するとともに、ディアスカネル大統領は、昨年11月のラオス訪問を振り返った。ラオス側からは、Khaykhamphithoune Phoxay 事務次官及びAnouphone Kittirath 駐キューバ大使、キューバ側からは、アナ・テレシータ・ゴンサレス・フラガ外務次官及びブランコ外務省アジア大洋州局長が同席した。

(7) フェリペ・スペイン国王同妃両殿下の訪問

11日、フェリペ国王同妃両殿下はハバナに到着し、ロドリゲス外務大臣の出迎えを受

けた。

12日、フェリペ国王はホセ・マルティ像に献花した後、ディアスカネル大統領と会談した。会談後、ロドリゲス外務大臣及びジョセップ・ボレル・スペイン外務大臣は、2022年までのパートナーシップ枠組み協定に署名した。同協定により、スペイン国際開発協力庁（AECID）、自治州、NGO等から計5,750万ユーロの資金が付与される。また、同日夜には、フェリペ国王同妃両殿下の訪問の記念した公式晩餐会が開かれた。

13日、フェリペ国王は、レアル・ハバナ歴史事務所長の案内で旧市街を視察した。なお、レアル所長はハバナ市修復に対する功績を認められ、カルロス三世勲位大十字章を授与されたほか、ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長及びレイナルド・ガルシア人民権力ハバナ県議会議長からフェリペ国王に対し、ハバナのシンボルである「ヒラルディージャ」の像が贈られた。その後、キューバ在住スペイン人を招いたレセプションが開催された。また、フェリペ国王はその後スペイン大使公邸でスペイン企業関係者との昼食会に出席した。同日夜には、返礼晩餐会が開かれた。

14日、フェリペ国王はラウル・カストロ第一書記と会談したほか、サンティアゴ・デ・クーバ市でサン・ペドロ・デ・ロカ城を訪問し、米西戦争戦没者を慰霊した。

（8）米国政府によるキューバ制裁リストの更新

15日、米務省は、キューバ軍事・諜報・治安部隊に対する資金流入を防ぐため、軍事・諜報・治安部隊の配下もしくはこれらのために活動している者を定めた「キューバ制裁リスト」（Cuba Restricted List）を更新し、ハバナのグラン・ホテル・ブリストル・ケンピンスキー等5つのホテルを追加した。新リストの発効日は19日。

（9）エクアドルとの保健分野の協力終了

15日、キューバ保健省は、エクアドルとの保健分野の協力に関する声明を発表した。同声明は、エクアドル政府が保健分野に関するキューバ保健省との6つの取決めを終了し、更新しないことを決定した旨発表したことに対し、キューバが各国で行っている医療協力の信用を傷つけ、妨害するための米国によるキャンペーンは、キューバの医療従事者の連帯的な取組が示す事実を不透明にすることはできないと非難した。エクアドルにおけるキューバの医療協力は1992年に開始され、今日まで、計3,565名の医療専門家がエクアドルで活動し、674万9,666件の診察、21万2,360件の外科手術、3,548件の出産への立ち会い、10万件以上の予防接種を行った。

（10）ボリビアからのキューバ人医療従事者の撤退

18日、キューバ外務省は、キューバ人医療従事者のボリビアからの撤退を発表した。この撤退は、ボリビア国内のデモを扇動又は援助したとしてキューバ人医療従事者4名が拘束されたことを受け、キューバ外務省が15日付声明にて、意図的な虚偽に基づいた非

難を断固として拒否し、ボリビアからの即時撤退を決定したものの。18日未明、ボリビアで活動していたキューバ人医療従事者207名がキューバに帰国した（16日には第一陣が帰国し、計431名がキューバに帰国）。空港では、ロベルト・モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長（共産党政治局員）、ホセ・アンヘル・ポルタル・ミランダ保健大臣他が出迎えた。16日に帰国した224名は、モラレス・オヘダ副議長、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣（共産党政治局員）他が出迎えた。キューバによるボリビアでの医療協力は1985年に開始され、これまで17,684名の専門家がボリビアで貢献した。

（11）Oh Chun Bok 北朝鮮保健大臣の訪問

26日、ホセ・ポルタル保健大臣は、キューバを訪問中の Oh Chun Bok 保健大臣と会談した。会談では、両国の良好な友好・兄弟関係を強調するとともに、本訪問が金正恩北朝鮮国防委員会第一委員長の指示によりキューバの国家保健制度の経験の共有を目的とすることが明らかにされた。また、会談後、両国の協力強化に向けた覚書への署名が行われた。北朝鮮保健大臣のキューバ訪問は今回が初めて。

（12）第2回一方的かつ抑圧的政策に関するキューバEU対話の開催

29日、2018年11月にブリュッセルにおいて開催された第1回に続き、ハバナにおいて第2回一方的かつ抑圧的政策に関するキューバEU対話が開催された。EU側は Katja Afheldt 欧州対外活動庁（EEAS）メキシコ・中米・カリブ課長が、キューバ側は ロドルフォ・レジェス外務省多国間問題・国際法総局長が、それぞれ代表を務め、相互尊重及び建設的な雰囲気の中で意見交換が行われた。同対話は、2017年11月に暫定的に発効した政治対話及び協力に関する合意（ADPC）に基づくもの。同対話は、米国の経済封鎖強化によって、キューバ国民及びEUの経済・貿易利益に対して引き起こされる損害について意見交換するという、双方の関心によって実施された。

3 要人往来

（1）来訪

エブラル・メキシコ外務大臣

サルムサイ・ラオス外務大臣

フェリペ・スペイン国王同妃両殿下

マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長（ハバナ創設500周年）

オランド・フランス前大統領（ハバナ創設500周年）

ランバート・フランス・キューバ友好議員連盟会長（ハバナ創設500周年）

Al Bade クウェート・アラブ経済開発基金総裁（ハバナ創設500周年）

Alkhalifa OPEC 開発基金（OFID）総裁（ハバナ創設500周年）

Oh Chun Bok 北朝鮮保健大臣の訪問

(2) 往訪

シエラ外務次官のカリブ諸国歴訪

マレロ観光大臣の中国訪問